

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援A型事業所ページェント	事業所番号	110701950
住 所	札幌市西区琴似1条7丁目1番14 琴似セントラルハイツ104号	管理者名	安竹 将吾
電話番号	011-676-4184	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所 夕張市長沼町 山田農園</p> <p>実施日程 4月～11月</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要・利用者人数等</p> <ol style="list-style-type: none">1.ビニールハウスの管理・ビニール貼り2.定植・育苗・除草・間引き・支柱立て3.収穫・選別・洗浄・袋詰め <p>利用者人数 5～7人</p>	<p><活動の様子></p>    
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">・実際の仕事に近い作業を経験することで、就労意欲や作業能力の向上を図る。・地域との関わりを通して社会参加の機会を広げる。・人手不足となりやすい農作業の担い手を確保することができる。・自分の役割を感じることで自信ややりがいを得られる。・将来的な就労へのステップとなる。	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・地域の農家と連携した作業を通して、利用者が地域の方と関わりながら働く機会を得ることが出来た。・作業を継続しておこなうことで作業の理解やスキルの向上、農作業への関心が高まり、働くことへの意欲の向上につながった。・実際の仕事に近い作業経験となり、責任感や達成感を得る機会となった。	

連携先の企業等の意見または評価


連携した結果に対する意見または評価			
連携先企業からは、利用者が真面目に作業へ取り組み、指示を理解しながら丁寧に作業を進めているとの評価をいただいている。			
継続して作業に参加することで作業スピードや正確性の向上も見られ、業務の一部を安心して任せることができているとの意見があった。			
また、人手不足の解消にもつながっており、今後も継続して連携していきたいとの評価を得ている。			
今後の連携強化に向けた課題			
今後の課題として、利用者ひとりひとりの作業能力や体調面に配慮しながら、安定して作業に参加できる体制を整えていく必要がある。			
また、作業内容の理解を深めるための支援や、作業スキルの向上に向けた指導を継続して行うことが求められる。			
加えて、連携先企業との情報共有を密に行い、双方にとって無理のない形で活動を継続できるよう連携体制を強化していくことが課題である。			
連携先企業名	山田農園	担当者名	山田 拓也

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実績報告書

事業所名	就労支援 A 型事業所 ペーダント
住 所	札幌市西区琴似 1 条 7 丁目 1 番 14 琴似セントラルハイツ 104 号
電話番号	011-676-4184

事業所番号	110701950
管理者名	安竹 将吾
対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 ペーダント事業所</p> <p>実施日程 3月20日(金)</p> <p>実施した活動・施設外就労の概要・利用者人数等</p> <ul style="list-style-type: none">・社労士による雇用に関する研修会 <p>労働基準法・労働保険・社会保険について</p> <p>利用者人数 18名</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> <p>成果物の写真</p> <p>活動内容の追加コメント</p> 
<p><目的></p> <p>社会保険労務士による研修会を実施し、雇用や労働に関する基礎知識を学ぶ機会を設けることで、利用者が働く上で必要となる権利や義務について理解を深めることを目的とした。</p> <p>また、就労に対する意識を高め、長期的な就労継続や一般就労への意欲向上につなげることを目指した。</p>	
<p><成果></p> <p>研修を通して、労働条件や働く際のルールなどについて理解を深めることができた。</p> <p>利用者からは雇用に関する質問や意見も見られ、働くことへの関心や意識の向上がうかがえた。今後の就労継続や職業生活に役立つ知識を得る機会となった。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>社会保険労務士による研修会において、利用者の皆さんが真剣な姿勢で参加している様子が印象的であった。雇用に関する基本的な制度や、働く上でのルール、労働者としての権利や義務について説明を行う中で、多くの利用者がうなずきながら話を聞いており、働くことへの関心の高さがうかがえた。また、研修後には労働時間や休暇、職場でのルールなどについて質問が出るなど、日頃の就労に関する疑問や関心をもちながら働いている様子が感じられた。こうした知識を学ぶ機会を持つことは、利用者自身が安心して働き続けるためにも重要であり、雇用に対する理解を深めることで職業意識の向上にもつながるものと考えられる。</p> <p>今後もこのような機会を通して、働くことに必要な知識や意識を高め、就労継続や一般就労に向けた力を身につけていくことを期待している。</p> <p>また、事業所が外部専門職と連携しながら利用者の支援を行っている点についても、非常に意義のある取り組みであると感じている。</p>	
連携先企業(担当者)	小島健二 社会保険労務士事務所 小島健二

利用者からの意見・評価

<p>今回の研修では、働く上で知っておくべきルールや制度についてわかりやすく説明してもらい、普段あまり意識していなかった雇用に関する知識を学ぶことができた。</p> <p>労働時間や休暇、働く際の権利や義務について知ることで、安心して働くためには自分自身もルールを理解することが大切だと感じた。</p> <p>研修を通して、働くことへの意識が高まり、今後も仕事を続けていくうえで役立つ内容だったという声が多く聞かれた。</p> <p>また、疑問に思っていたことを質問できる機会があり、理解を深めることができよかったという意見もあった。</p> <p>今後もこのような学びの機会があれば参加したいという声がかかっている。</p>

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	就労支援A型事業所 ページェント
住 所	札幌市西区琴似 1 条 7 丁目 1 番 14 号 琴似セントラルハイツ 104 号
電話番号	011-676-4184

事業所番号	110701950
管理者名	安竹 将吾
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)	5	

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	5	

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	130	点	/ 200 点
----	-----	---	---------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	10,442	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,599	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.01	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
-----------------	---	--------------	---	----	---

前々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
-----------------	---	--------------	---	----	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,362,012	円	利用者に支払った賃金総額	11,070,267	円	収支	291,745	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（2025年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（2025年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している

※研修名 障害者の就労支援に関する基礎的研修
研修講師
実施日・受講者数 9月 12日 4人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名
実施日/参加者数 月 日 人
※他の事業所名
実施日/参加者数 1月 22日 3人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している

※商談会等名 仕事バンバンプラザ
主催者名 守成クラブ
日時 7月 17日
内容 名刺交換会・商談懇親会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 R7年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数 6名
うち昇給・昇格を行った者 2名
当該人事評価制度の周知方法 社内文書

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している

※配置期間 6月 1日～ 3月 31日
就業時間 8:00～17:00
職務内容 作業補助・引率・生活支援

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	就労支援A型事業所ページェント	
人員配置区分	1. I型 (7.5 : 1)	2. II型 (10 : 1)
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	ネット 利用	(公表場所) ホームページ (URL) https://parade-teine.com/paradenokaigo-hukushiservice/syurousien-pageant
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。